



TOYOTA

トヨタ行動指針

2023年10月



社長を務めた14年間、私に取り組んできたことは、「幸せの量産」というトヨタの「思想」を取り戻すことでした。

「もっといいクルマをつくろう」、
「世界一ではなく、町いちばんを目指そう」、
「自分以外の誰かのために仕事をしよう」。
そう言い続け、自らハンドルを握り、現場で、行動で、
トヨタの「思想」と「技」と「所作」を示し続けてまいりました。

「この町いちばん」で考えれば、怒っている人の顔も、喜んでいる人の顔も見えます。
「もっといいクルマをつくろう」とすれば、自分たちの機能だけではできないことがわかります。
そして、クルマがお客様の人生と深く関わっていることに気づくと思います。

私が大切にしてきたものは、こうしたクルマづくりの物語(ストーリー)であり、
その主人公は、お客様をはじめとするステークホルダーの皆様であり、
トヨタの現場で働く一人ひとりだと思っております。

私がそう考える大きなきっかけとなったのが、社長就任直後に直面した一連のリコール問題でした。
2010年2月24日、私はトヨタを代表して米国の公聴会に出席することになりました。

公聴会での私の証言を支えてくれたのは、トヨタの現場の仲間たちでした。彼ら彼女らは、
昼夜を問わず走行試験を繰り返し、何が事実なのかを徹底的に追及してくれました。
こうした現場の地道な努力があったからこそ、私は公聴会で、
「トヨタは絶対に、逃げない、隠さない、嘘をつかない」ということを
世界中の人々に約束することができました。

モノづくりが、人間の営みである以上、ましてや、「もっといいクルマ」を目指して
積極果敢に挑戦する以上、失敗や間違いはつきものです。大切なことは、失敗をした時、
間違いをおかした時、全員が必ず立ち止まり、現地現物で真因を追求し、改善し、
再発防止に取り組んでいくことです。

現場は、毎日、多くの変化点がある中で、いろいろなプレッシャーと闘いながら、
それぞれの仕事を必死に頑張ってくれていると思います。こうした状況の中で、
私たち経営陣、マネジメントに携わるリーダーが心掛けるべきは、
「絶対にやってはいけないこと」を徹底した上で、
現場のメンバーが何をすれば良いかを自ら考え、行動できる環境をつくることだと思います。

いま、トヨタの主権は、自ら考え、動く現場にあります。
「幸せの量産」というトヨタの使命を、一人ひとりの行動で実現してまいりましょう。

トヨタ自動車株式会社
取締役会長
豊田 章男



創業以来、トヨタが大切にしてきたことは、
 「お客様が笑顔になるクルマをつくりたい」
 「クルマづくりを通じて社会を豊かにしたい」という想いです。
 急拡大後の赤字転落やリコール問題の危機を経て、
 この使命を果たす会社に生まれ変わるために、
 豊田会長が社長を務めた14年間、
 「もっといいクルマをつくらうよ」「町いちばんの会社になろう」
 「自分以外の誰かのために行動しよう」を合言葉に、
 こうした「トヨタらしさ」を取り戻す努力を重ねてきました。

お客様の笑顔のために、クルマに向き合い、現場で必死に汗をかく。
 そんな「クルマ屋」としての原点に立ち返った結果、私たちの商品は大きく変わりました。
 危機の時でも立ち止まらない、企業としての強さも身につけてきたと思います。

今は、環境変化のスピードが速く、正解が分からない時代です。
 だからこそ、私たちにはブレない軸が必要です。
 取り戻してきた価値観を決して失ってはならない。絶対に元に戻してはいけない。
 そんな強い覚悟をもって「トヨタらしさ」を継承していくこと、そしてその価値観を基盤に、
 未来の進化に向けて実践の量を増やしていくことが何より重要だと思えます。

大切なことは「行動」です。価値観や意識の変化は、必ず行動の変化を生み出します。
 そして、行動で示し続けてこそ、その価値観は広く浸透していくものだと思います。

日々のあらゆる業務においても、「誠実に仕事をする」「正しいことをする」
 「間違っていると思えば、すぐに声を上げ、改善する」、一人ひとりがこうした行動を
 積み重ねていくことこそが、世の中から共感・応援いただきながら成長する
 企業の基盤づくりに必ずつながっていきます。
 そうした行動を促す一助になるものが、「トヨタ行動指針」です。

行動指針を抛りどころに、一人ひとりが自ら考え、動き、改善を続ける企業風土を
 全員で守り育ててまいりたいと思います。そして、「幸せの量産」という使命を胸に、
 もっといいクルマづくりをさらに前に進め、クルマの未来を変えていくために、
 トヨタらしく行動し続けてまいりましょう。

トヨタ自動車株式会社
 取締役社長
 佐藤 恒治

目次

トヨタ行動指針とは？ 5
 豊田綱領 7
 トヨタフィロソフィー 8



第1章 >>

人との関わり

明るい職場づくり 10
 人権 11
 個人情報 12



第2章 >>

社会との関わり

環境 14
 交通安全への取り組み 15
 社会貢献活動と地域社会との関係 16
 官公庁との関係・政治活動 17
 企業広報活動 18



第3章 >>

誠実な事業活動

安全性の追求と製品の品質 20
 研究開発活動 21
 調達活動 22
 営業活動と公正な競争 23
 国際的な事業活動 24
 正確な記録管理 25
 資産の保護と機密管理 26
 インサイダー取引 27



第4章 >>

フェアな活動

贈収賄防止 29
 贈答・接待 30
 マネーロンダリング防止 31
 利益相反 32

スピークアップ

通報者保護 33
 スピークアップの方法 34

トヨタ行動指針とは？

私たちは、世界中のトヨタで働く人々が、社会・地球の持続可能な発展へ貢献していく中で確立、継承されてきた、独自の考え方・価値観・手法や実務上の指針に支えられ、業務を行っています。

豊田佐吉翁の遺訓をまとめた「豊田綱領」を原理原則として、改めて歩んできた道を振り返り、未来への道標としてつくられたのが「トヨタフィロソフィー」です。同じく、豊田綱領を礎に「どのような会社でありたいか」という経営理念をまとめたものが「トヨタ基本理念」です。これらはいずれも、創業以来受け継がれてきた、トヨタ独自の経営上の考え方、価値観、手法を踏まえ、トヨタの進むべき方向を示したものです。そして、私たちが日常業務を通じてそれらを実践するうえで、大きな支えとなるものが「トヨタウェイ2020」と「トヨタ行動指針」です。

「トヨタウェイ2020」と「トヨタ行動指針」は、いずれも、私たち一人ひとりが、「幸せを量産する」という使命を果たし、可動性(モビリティ)を社会の可能性に変えていくために、心掛けるべきことを整理したものです。「トヨタウェイ2020」はトヨタで働く人としての10の行動を整理しています。また、「トヨタ行動指針」は、私たち一人ひとりが、社会生活・会社生活において規範とすべき指針をまとめたものです。



「トヨタ行動指針」は、トヨタ自動車およびその子会社で働くすべての人々が、誠実な行動を行うために重要な留意点が幅広く記載されていますが、すべての状況が網羅されているわけではありません。

何が誠実な行動なのかわからないときには、以下の質問を自らに尋ねてみてください。

1

あなたの行動は、
トヨタの価値観、方針
およびトヨタ行動指針と
一致していますか？

2

あなたは、自らの行動を
同僚に対して誇れますか？

3

世界中の人々が、あなたの
行動を知ったとき、不安や、
うしろめたさを感じることは
ありませんか？

もし、「はい」と答えられない質問がある場合、行動する前に一度立ち止まり、周囲の助けを求めるために声を上げてください。



豊田綱領

-
- 一、上下一致、至誠業務に服し、産業報国の実を挙げべし
 - 一、研究と創造に心を致し、常に時流に先んずべし
 - 一、華美を戒め、質実剛健たるべし
 - 一、温情友愛の精神を發揮し、家庭的美風を作興すべし
 - 一、神仏を尊崇し、報恩感謝の生活を為すべし
-



創業以来今日まで、トヨタの経営の「核」として貫かれてきたのが「豊田綱領」です。トヨタグループの創始者、豊田佐吉の考え方をまとめたもので、トヨタのDNAとなっています。当初は確固たる形があったわけではありません。しかし関係会社の規模が拡大するにつれ、従業員に周知徹底すべく明文化する必要性が出てきました。そこで草創期の豊田利三郎、豊田喜一郎らが佐吉の遺訓としてまとめ、世に出たのが「豊田綱領」です。佐吉の6回忌に当たる1935年10月30日のことでした。

トヨタフィロソフィー

2020年、モビリティカンパニーへの変革を進めるために、改めて歩んできた道を振り返り、未来への道標となる「トヨタフィロソフィー」をまとめました。

VALUE

トヨタウェイ

ソフト、ハード、パートナーの
3つの強みを融合し、唯一無二の
価値を生み出す

MISSION

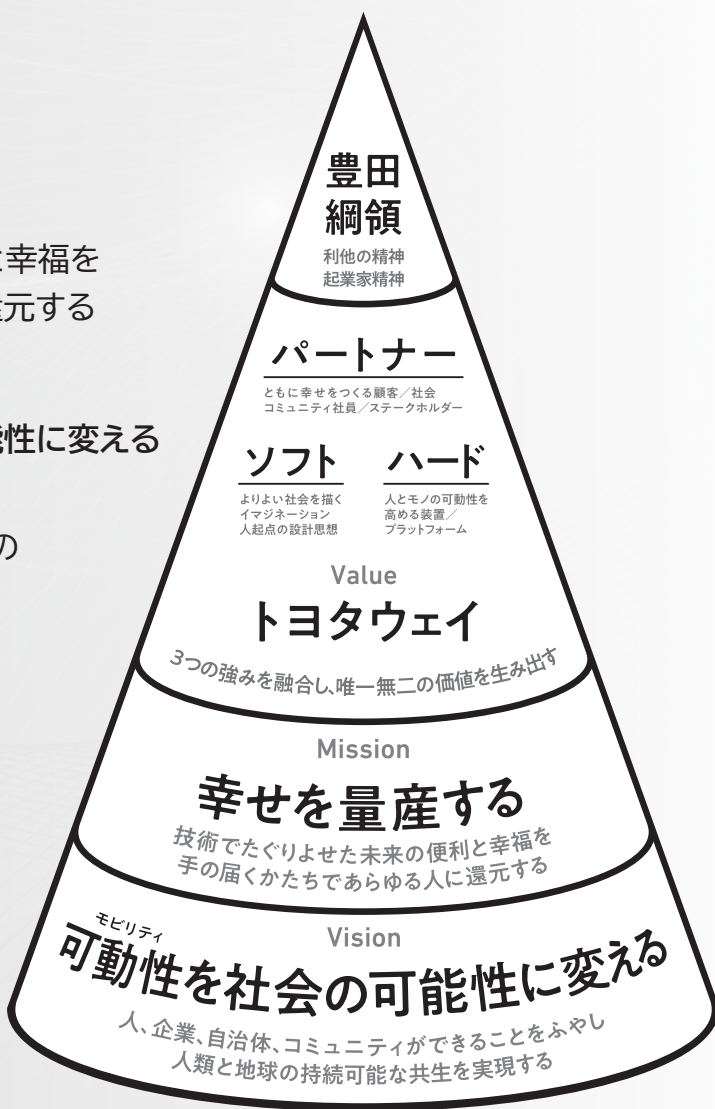
わたしたちは、幸せを量産する

技術でたぐりよせた未来の便利と幸福を
手の届くかたちであらゆる人に還元する

VISION

可動性(モビリティ)を社会の可能性に変える

人、企業、自治体、コミュニティが
できることをふやし、人類と地球の
持続可能な共生を実現する





第1章

人との関わり



明るい職場づくり

私たちは、お互いを尊重し合い、健全で安全な職場環境をつくります。

方針

- ▶ トヨタは、働く仲間の多様性を尊重し、互いを信頼し認め合う一人ひとりが活躍できる職場を目指します。
- ▶ トヨタは、差別やハラスメントのない、安全で快適な職場づくりに取り組みます。
- ▶ トヨタは、労働・雇用に関する法令および規則を遵守するとともに、均等な雇用機会の提供と、労働条件の維持向上に努めます。

コミットメント

- ▶ 誠実に仕事をし、自らの能力を最大限に発揮して、最善を尽くします。
- ▶ 仲間のアイデアに耳を傾け、様々な考えや意見を尊重します。
- ▶ ハラスメントを行わず、差別をしません。
- ▶ ダイバーシティを推進し、問題解決と変革に努めます。
- ▶ 安全に関する手順に従い、法令および規則を遵守します。
- ▶ 事故や傷病が発生した場合には、被害拡大防止に努め、直ちに報告します。

人権

私たちは、人権を尊重します。

方針

- トヨタは、お客様や従業員、そしてトヨタの事業活動に関わるあらゆる人の人権を尊重します。



コミットメント

- 「世界人権宣言」および「国連ビジネスと人権に関する指導原則」を尊重し、「トヨタ自動車人権方針」を遵守します。
- 賃金、福利厚生、児童労働、強制労働等に関する国際的な人権に関する義務、法令、規則および会社のルールを遵守します。
- ビジネスパートナーの選定には、人権の観点からの適切な調査(デューデリジェンス)を実施します。

指針となる資料

トヨタ自動車人権方針



個人情報

私たちは、お客様および従業員の
プライバシーを尊重し、個人情報を保護します。

方針

- トヨタは、個人情報の取り扱いにおいて、法令の遵守を徹底するとともに、プライバシーに配慮する「プライバシーバイデザイン」に取り組み、お客様に選ばれる製品・サービスを提供します。
- トヨタは、仕入先・販売店などのビジネスパートナーと協力し、適切かつ長期的な観点から、個人情報管理体制を構築します。
- トヨタは、従業員に対し継続的に教育を実施し、プライバシー尊重の企業文化を醸成します。

コミットメント

- お客様の声に真摯に耳を傾け、お客様のプライバシーを尊重します。
- お客様の個人情報を利用するときは、責任をもって扱い、お客様に寄り添った製品・サービスを生み出し、お客様の幸福と満足を目指します。
- 法令、規則および会社のルールを遵守し、個人情報を適切に管理します。



第2章 社会との関わり



環境

私たちは、環境負荷の低減と持続可能な社会の実現に貢献します。

方針

- ▶ トヨタは、クリーンで安全な製品を提供します。
- ▶ トヨタは、「トヨタ地球環境憲章」と「トヨタ環境チャレンジ2050」を通じ、積極的に環境負荷の低減を目指し、また資源を持続させる活動を行います。
- ▶ トヨタは、製品のライフサイクル全体における環境負荷を評価し、その低減に努めます。
- ▶ トヨタは、仕入先、販売店などのビジネスパートナーと連携して、各国・地域トップクラスの環境への取り組みを継続的に推進していきます。

コミットメント

- ▶ 国際的な環境基準を遵守し、地域の環境問題に積極的に取り組みます。
- ▶ 環境に与える影響を予測・評価し、環境リスクの回避や低減に努めます。

指針となる資料

- [トヨタ地球環境憲章](#)
- [トヨタ環境チャレンジ2050](#)



交通安全への取り組み

私たちは、交通事故死傷者ゼロを目指します。

方針

- トヨタは、交通事故死傷者ゼロを目指します。
- トヨタは、人、クルマ、交通環境の「三位一体の取り組み」を通じて、社会全体の交通安全に関する意識の向上と、安全対策の普及に取り組めます。また、交通環境面での事故対策にも積極的に参画・提案します。
- トヨタは、交通安全に寄与する技術を幅広く開発し、多くの車種に搭載することで、交通安全技術の進化・普及に努めます。

コミットメント

- 交通ルールを遵守し、他の模範となる思いやりのある運転に努め、交通安全を積極的に推進します。



社会貢献活動と 地域社会との関係

私たちは、地域社会での社会貢献活動を通じ、
持続可能な社会の実現を目指します。

方針

- トヨタは、町いちばんの会社を目指します。
- トヨタは、地域に根差した社会貢献活動を行います。
また、良き企業市民として、地域や社会が抱える課題に取り組みます。
- トヨタは、防災活動に取り組み、災害時の地域の復旧活動にも貢献します。

コミットメント

- 一人ひとりがボランティア活動などの社会貢献活動に積極的に参加します。
- 寄付・協賛を行うときは、法令、規則および会社のルールを遵守します。
- 不当に便宜を獲得する目的で寄付・協賛を行いません。

指針となる資料

贈収賄・腐敗行為防止に関するトヨタグローバルポリシー



官公庁との関係・政治活動

私たちは、社会人として政治へ参加することで、持続可能な社会の実現に貢献します。

方針

- トヨタは、官公庁と適切で透明な関係を維持します。
- トヨタは、政治(政党)・行政(官公庁)と透明かつ公正な関係づくりに努め、法令および規則に従い適切な行動をとります。

コミットメント

- 政治・行政および公務員との健全かつ透明な関係を維持します。
- 政治献金や寄付を行うときは、法令、規則および会社のルールを遵守します。
また、トヨタに関する意思決定に影響を与えたり、その他の不当に便宜を獲得したりする目的で政治献金や寄付を行いません。

指針となる資料

贈収賄・腐敗行為防止に関するトヨタグローバルポリシー



人との関わり

社会との関わり

誠実な事業活動

フェアな活動

企業広報活動

私たちは、正確かつ適切な情報をタイムリー、オープンかつフェアにステークホルダーへ届けます。

方針

- ▶ トヨタは、タイムリー、オープンかつフェアに、正確かつ適切な情報を提供することで、ステークホルダーとの健全な関係の維持・向上に努めます。
- ▶ トヨタは、ステークホルダーからの批判・要望に耳を傾けます。
- ▶ トヨタは、他者への敬意と思いやりを忘れず、誹謗中傷となるような発信、トヨタの社会的信頼を損なう発信を行いません。

コミットメント

- ▶ ブランド価値向上の重要性を理解し、正確かつ適切な情報を伝えます。
- ▶ 会社から承認を得ない限り、トヨタを代表するような発言、報道機関へのコメントは行いません。報道機関など外部からの問い合わせを受けたときも、会社から承認を得ることなく答えません。
- ▶ ソーシャルメディアでの発言は個人のものであり、トヨタのものではないことを明確にします。
- ▶ オンライン上でのやり取りを含め、高い倫理観を持ち、礼儀・礼節をわきまえた広報・コミュニケーション活動を行います。
- ▶ お客様、ビジネスパートナー、会社、従業員などの機密情報を保護します。



第3章

誠実な事業活動





安全性の追求と 製品の品質

私たちは、製品の安全性と高い品質を確保します。

方針

- ▶ トヨタは、製品の安全性を、最も優先すべき事項の一つとしています。
- ▶ トヨタは、安全で品質の高い製品をお客様に届けられるよう、研究開発・設計・生産・品質管理・アフターサービスに取り組めます。

コミットメント

- ▶ お客様の期待と信頼にこたえるため、製品の安全性と品質を確保します。
- ▶ 法令、規則およびトヨタの基準に従います。
- ▶ 製品の安全性や品質に関する懸念や問題があるときは、速やかに報告、対処します。

研究開発活動

私たちは、実直に研究開発を行います。

方針

- トヨタは、安全かつ高品質な製品・サービスを提供します。
- トヨタは、最先端技術の研究開発を積極的に推進します。
- トヨタは、研究開発を行うにあたり、法令を守り、研究開発パートナーとの契約に違反することや、第三者の知的財産や機密情報の不正な使用を行いません。

コミットメント

- お客様第一の車づくりのために、研究開発を推進します。
- 研究開発パートナーとの相互の信頼関係の維持に努めます。
- 研究開発および製品化にあたり、第三者の知的財産を尊重します。



調達活動

私たちは、最も高い倫理基準をもって
仕入先などの取引先と事業を行います。

方針

- ▶ トヨタは、取引先との相互信頼に基づく相互繁栄を目指します。
- ▶ トヨタは、車両の生産地で部品、資材等も調達する現地調達化を推進します。
- ▶ トヨタは、公正かつ合理的な基準に基づいて最良の取引先を選定します。



コミットメント

- ▶ 取引額や取引期間にかかわらず、すべての取引先と公平かつ誠実に取引を行います。
- ▶ 取引先について、適切な調査(デューデリジェンス)を実施するとともに、以下の基準で選定します。
 - ・ 人権を尊重し、責任ある調達慣行に取り組んでいること
 - ・ トヨタの企業倫理観やダイバーシティへの取り組みを理解していること
 - ・ 品質、価格、信頼性、技術的優位性と納期を含む客観的基準を満たしていること
- ▶ 意思決定の独立性が疑われるような、利益相反やそのように見える行為を行いません。
- ▶ 取引先からは、会社のルールの範囲内で、適切で合理的な金額の贈答や接待のみを受けます。

指針となる資料

- ・ [トヨタ自動車人権方針](#)
- ・ [仕入先サステナビリティガイドライン](#)

営業活動と公正な競争

私たちは、高品質かつお客様のニーズを満たす製品・サービスを、公正な競争を通じてお客様に提供します。

方針

- トヨタは、お客様のニーズに合った魅力ある製品やサービスを開発し、公正な競争と信頼性のあるマーケティング活動を通じてお客様に提供します。
- トヨタは、販売店などのビジネスパートナーと信頼関係を構築し、相互の繁栄を目指します。

コミットメント

- お客様第一の姿勢を貫きます。
- 事実を正しく伝え、誤解を招かないような方法で製品・サービスを提供します。
- 広告やマーケティングでは、法令、規則および会社のルールに従い、十分に裏付けされた情報を伝えます。
- 価格やコスト等、競争にかかわる条件について競合他社と協議・合意はしません。
- 公正・適正な金融サービスを提供します。



国際的な事業活動

私たちは、国際取引に関連する法令および規則を遵守します。

方針

- トヨタは、各国・地域の文化・慣習・歴史を尊重し、その国・地域および国際取引における法令および規則を遵守します。
- 地域社会の発展に貢献し、どの地域でも町いちばんの会社を目指します。



コミットメント

- 各国・地域の文化・慣習・歴史を尊重します。
- 国際取引(輸出入)に適用される法令および規則を遵守します。
- 経済制裁、輸出規制の対象を確認するとともに、会社のルールを確認・遵守します。
- 貿易関連規制やルールを遵守し、分類、価額、原産国などを正確に記録、保管します。



正確な記録管理

私たちは、正確な記録管理を行い、
経営の透明性向上を図るとともに説明責任を
果たせるよう努めます。

方針

- トヨタは、正確で偽りのない記録を作成し、保管します。
- トヨタは、正確な財務状況を公正かつタイムリーに開示します。
- トヨタは、適正な納税を行います。

コミットメント

- すべての資産、負債、収入、支出を漏れなく正確に、適切な期間・勘定に、遅滞なく記録します。
- 完全で正確な記録を残すことにより、業務の効率化、リスクの軽減、規制の遵守を推進し、責任ある意思決定を行います。



人との関わり

社会との関わり

誠実な事業活動

フェアな活動

資産の保護と機密管理

私たちは、あらゆるトヨタの資産を適切に管理します。

方針

- ▶ トヨタは、設備や機器などの有形資産、知的財産や機密情報などの無形資産いずれも適切に保護します。
- ▶ トヨタは、営業秘密などの情報資産を適切に管理・活用します。
- ▶ トヨタは、情報漏洩への対応など、適切なセキュリティ体制を構築し、継続的な改善を行います。
- ▶ トヨタは、開発の初期段階から「セキュリティバイデザイン」に取組み、製品のサイバーセキュリティを確保します。

コミットメント

- ▶ 会社の資金や資産を、会社のルールに従って誠実に取り扱います。
- ▶ 会社から支給されるパソコンや携帯電話、その他電子機器が会社資産であることを十分に認識し、利用します。
- ▶ 会社資産の棄損、乱用、紛失、盗難を防ぐために注意を払い、不適切な使用を目にした場合には会社に報告します。
- ▶ 機密情報、ITシステム、工場設備といった会社の資産を外部の攻撃やリスクから保護するために必要な方法を確認し、実践します。
- ▶ 技術、情報、ITシステム、インターネットを扱うときには、セキュリティを常に意識します。
- ▶ 必要な教育・訓練をタイムリーに受講し、セキュリティ意識の高い企業風土の醸成・維持に貢献します。

指針となる資料

情報セキュリティ基本方針

インサイダー取引

私たちは、未公表の重要事実に基づいて
有価証券の取引を行わず、また、
そのような情報を口外しません。

方針

- ▶ トヨタは、保有する未公表の重要事実が不当に開示・使用されることがないように管理します。
- ▶ トヨタは、インサイダー取引を許しません。

コミットメント

- ▶ 適切な情報管理を行い、未公表の重要事実が漏洩しないようにします。
- ▶ 業務上共有が必要な相手とのみ未公表の重要事実を共有します。
- ▶ 未公表の重要事実を、家族、友人を含むいかなる者にも、いかなる方法によっても開示しません。
- ▶ 未公表の重要事実が公開され、法令、規則および会社のルールが定める時間が経過するまで、関連する有価証券を取引しません。





第4章

フェアな活動

贈収賄防止

私たちは、贈収賄および腐敗行為をしません。

方針

- トヨタは、決して賄賂の授受を行いません。
- トヨタは、ファシリテーションペイメントを行いません。

定義

腐敗行為とは、あらゆる不誠実な行為または職権の濫用行為を指します。

賄賂とは、不当な便宜を得ることを目的として、直接・間接を問わず、公務員や取引相手に授受される有形・無形の利益を指します。

ファシリテーションペイメントとは、行政サービスや許認可を円滑にするために、公務員個人に対して行われる支払いを指します。

コミットメント

- 賄賂の申出、提供、受領、要請を行いません。
- ファシリテーションペイメントを行いません。
- 取引相手が公務員かどうかを確認し、公務員との取引に適用される法令、規則および会社のルールに従います。
- 贈答・接待や、寄付・献金を行うときは、法令、規則および会社のルールを遵守します。
- 公務員から紹介を受けた人物および直近公務員だった人物を採用するときは、法令、規則および会社の採用ルールを遵守します。
- 適切な調査(デューデリジェンス)によるスクリーニングを行い、ビジネスパートナーを理解します。
- すべての取引を適正に記録し、保管します。

指針となる資料

贈収賄・腐敗行為防止に関するトヨタグローバルポリシー

贈答・接待

私たちは、不適切な贈答や接待を行いません。

方針

- トヨタは、誠実な企業活動を通じて、ステークホルダーと長期にわたる強固な関係を築きます。
- トヨタは、正当な目的、かつ合理的な金額の範囲内で贈答や接待を行います。

コミットメント

- 贈答・接待に関する法令、規則および会社のルールを遵守します。不当な取引上の便宜を獲得する目的で贈答や接待を行いません。
- 贈答や接待を行う際は、正当な目的、かつ合理的な金額の範囲内で行い、すべての支出を記録します
- いかなる相手にも贈答や接待を要求しません。
- 取引先から贈答や接待の申出があった場合には、正当な目的があり、かつ合理的な金額の範囲内のものである場合にのみ応じ、会社のルール(基準額など)に従って承認を取得します。但し、それが取引に影響を及ぼすような場合には、応じません。



指針となる資料

贈収賄・腐敗行為防止に関するトヨタグローバルポリシー

マネーロンダリング防止

私たちは、マネーロンダリングからトヨタを守ります。

方針

- トヨタは、信頼できるお客様やビジネスパートナーと取引し、マネーロンダリング防止に関する法令および規則を遵守します。
- トヨタは、マネーロンダリングを許しません。

定義

マネーロンダリングとは、犯罪行為で得た資産を、出所を隠して、正当な資産であると思わせようとする違法行為のことです。

コミットメント

- 適切な調査(デューデリジェンス)を通じて、お客様、仕入先その他のビジネスパートナーが違法行為に関与していないかを確認します。
- 現金による多額の支払いを要求された場合、通常対価以上の金額を支払うことを提案された場合、支払いを行った口座とは異なる口座への返金要求を受けた場合など、マネーロンダリングが疑われる状況への警戒を怠りません。
- 不審な取引を知った場合、会社が適切な措置を講じられるよう、速やかに会社へ報告します。



利益相反

私たちは、利益相反行為を行いません。

方針

- トヨタは、従業員が職務にあたって、個人の利益を追求し、会社と利益が相反する行為(利益相反行為)を行うことを許しません。

コミットメント

- 誠実に行動します。
- トヨタの事業のために、最善を尽くします。
- トヨタの利益を損なう、あるいは損なうように見える、以下のような行為を行いません。
 - 家族、恋人、親しい友人の雇用を不当に優遇すること
 - トヨタと競合関係にあるビジネスに関わること
 - トヨタの財産、情報または立場を利用して個人的な利益を得ようとする
 - トヨタの取引先に多額の投資を行うこと
 - 家族、恋人、親しい友人が経営を行っている会社等と、トヨタとの取引に関わること
 - トヨタを代表して交渉中の取引先から、贈答品を受け取ること
- 利益相反が生じている場合や生じる可能性がある場合には、その状況、取引、関係について会社に報告します。



指針となる資料

贈収賄・腐敗行為防止に関するトヨタグローバルポリシー

人との関わり

社会との関わり

誠実な事業活動

フェアな活動

スピークアップ

トヨタ行動指針は、できる限り様々な状況での我々がとるべき行動の指針や考え方をまとめています。それでも、自分の行動に確信がもてないときや、職場での不正やその疑いに気づいたときは、上司や社内の専門部署に相談、報告してください。また、各社の相談窓口やグローバルスピークアップラインに相談することもできます。

実際に相談するときに事実を完全に把握している必要はありません。むしろ、会社がタイムリーに対応できるように速やかに相談することが重要です。

トヨタは、トヨタ行動指針に反する行為に厳格に対処します。受領した相談を公正に調査して、必要な再発防止に取り組みます。

通報者保護

トヨタでは、スピークアップをした従業員(通報者)や調査に協力した従業員に対して、通報や調査協力を行ったことを理由として、不利益な取り扱い(解雇、降格等)をしません。

通報者や協力者を探索したり、不利益な取り扱いをしたりした者は、懲戒処分を受ける可能性があります。

万が一、探索行為や不利益な取り扱いがあった場合には、直ちに報告してください。

スピークアップの方法

スピークアップには以下のような方法があります。

上司への相談: あなたの直属の上司、またはあなたの所属する組織以外の管理監督者にも相談できます。

社内の専門部署: 自社の人事部門、法務部門、コンプライアンス部門などの専門部署に相談することができます。

スピークアップ窓口: 以下に示す専用の窓口を利用することができます。法律で禁止されていない限り、匿名で相談ができます。

<p>各社の相談窓口</p>	<p>各社・各地域の相談窓口や、社外の弁護士などを通じた窓口が設けられています。</p> <p>詳しくは各社の案内をご確認ください。</p>
<p>グローバル スピークアップライン*</p>	<p>誰でも利用可能で、様々な言語に対応しています。</p> <p>[利用方法]</p> <p>ポータルサイト: http://toyotaglobalspeakup.com</p> <p>メール: SpeakUp@toyota.com</p>

*グローバルスピークアップラインは、トヨタ自動車が運営しており、社外の委託先が受付しています。

相談、報告の方法について、より詳細を知りたいときには
[トヨタスピークアップポリシー](#)をご参照ください。



TOYOTA

Date of Issue October 2023 Toyota Motor Corporation. All rights reserved.